

まちがいさがし クイズ

問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え(右の絵に○をつける)と②住所・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり1月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

11月17日(水)当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはユトリーナバーデゾーン無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は1月初旬に郵送します。



◆9月号の答え



【石観音】(清田町)
むかし、清田の新屋の辺りは水不足に苦しんでいた。子どもたちはいつも泣き、我慢できない子はしおれた草までかんでいた。ある日の夕暮れ、ひげがのび笠や衣も破れ、どう見てもこじきしか見えないお坊様が、家の戸をたたき「旅の坊主じゃが一晚泊めてください」と頼んだ。すると、おかみさんが戸を少し開け、みすほらしいお坊様の姿を見ると「うちはあんたに食べさせるものはないでね」と戸をひしゃりと閉めた。困ったお坊様は次から次へと戸をたたいて回ったが、どの家からも返ってくる返事は同じだった。
諦めかけていた時、お坊様は屋根が傾き戸も破れた小さな家を見つけた。戸をトントンとたたくと、戸が開き一人のおばあさんが出てきた。お坊様の疲れた様子を見て、気の毒に思いつらには食べていただく物もありませんが、それでも良かったらお泊りください」と、おばあさんはわずかばかりの漬物を差し出し、「この辺りは水不足で悩んでいることなどを涙ながらに話した。
次の朝、お坊様は「おばあさんのおかげで助かった。このあたりに観音様のお姿をした石がある。それを探してみると、きっといいことがある」と言って別れを告げた。おばあさんは言われたとおり石を探し始めた。なかなか見つからず、くたびれて狭い自分の畑の真ん中に座りこもると、土で汚れている観音様にそっくりな石を見つけ、手ぬぐいできれいに拭いた。すると、どうしたことが石が転がっていたところからきれいな真水が湧き出してくるではないか。枯れた野菜からからは、たちまち新しい枝や葉がのび、蒔いてあった種も芽を出した。真水はどんどん広がり、新屋中を潤し、田や畑が生き返った。村人はお堂をつくり石観音を大切に奉った。そして毎日供え物をしたり、お参りをしたと伝えられていきます。

9月号クイズまちがいさがし(木彫りのねこ)の当選者

応募総数95通 正解者90人

当選者(敬称略・50音順)

竹谷町	池田茂子	宮成町	垣内咲紀	宝町	加藤未来	形原町	近藤和代
三谷町	遠山敏子	形原町	鳥居恵子	形原町	牧野昭市	水竹町	松下利雄
金平町	山田智恵乃	御幸町	渡邊恵理子				

おめでとうございます。賞品は11月初旬に発送します。